



まあるく、つながるえがお

丸八真綿とお客様をつなぐもの――― それは眠りを通じて生まれるあたたかい「絆」と「笑顔」。 今回はそんなお客様との「絆」と「笑顔」を訪ねて、 全国のご愛用者様のお宅にちょっぴりお邪魔しました。







毎日、丸八真綿のおふとんで眠るひとときが大好き、と話してくれた渡辺さん。「母として妻として、女性は家族を支える大切な役目があるから、毎日ちゃんと元気でいないとね。そのためには気持ちよく眠ることがとても大切だと思うんです」





渡辺カツ子さんを訪ねました。として栄えた三条市にお住まいの、ものづくりのまち・鍛冶屋のまちものづくりのまち・鍛冶屋のまち豊かな山と海に抱かれた新潟県。

までのふとんとは触れたときの感じ のため、おなじ毛皮の敷きふとんを もう16年前のこと。ご主人とご自身 笑顔で過ごすため、これからも元気 使ってみようと思ったのは、毎日を えるのは勇気が必要です。それでも らないお人柄を伝えます。たとえ良 ろん、それなりのお値段なんだから の驚きを振り返る渡辺さん。「もち がまったく違ったんです」と、当時 がお付き合いの始まりです。「それ **発目っけたっぷりに話す笑顔が、** 仲良く1枚ずつご注文いただいたの い品でも使い慣れたふとんを買い換 いいものじゃないと困るわよね」と 丸八真綿のふとんとの出会いは、 人生の半分を占める大



よう。そんなひらめきを感じた、



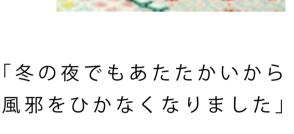






と渡辺さんは感じたそうです。





吸ってくれるのに表面はサラサラの と、折りにつけ寝具を買い足してい まま。すごく気に入っています」。 しっとりと柔らかい。汗をちゃんと かなくなったのだとか。「丸八さんは れるようになり、それから風邪をひ さないから真冬の夜でもぐっすり眠 とんのおかげ」ふとんが体温を逃が こられたのは、 す。渡辺さんいわく「元気で働いて もを育て上げ、さらに孫の面倒もみ たんです」と嬉しいお言葉。ご主人 きる、と思って少しずつ揃えていっ これなら丸八さんのふとんは信頼で 初に買った1枚が本当にあたたかく ただきながら、渡辺さんと丸八真綿 いのにぎゅっと目が詰まっていて、 シーツやカバーもいいわね。糸は細 がら退職したのはつい先月のことで に20年勤めた働きもの。 惜しまれな と結婚して今年で47年。二人の子ど て、冬の朝に起きても寒くないの。 のお付き合いは続いてきました。「最 て、家事をこなしながら料亭の厨房 いい食べ物といいふ

つぎは枕、そのあとは掛けふとん 納得してから買えるのが訪問販売の た後もちゃんと相談に乗ってくれる」 ら買うに越したことはないし、買っ 目で見て、手でさわって確かめてか げてくれた大切なご縁です。「自分の を担当しています。気がつけば、すっ 丸八真綿の営業スタッフも、最初の 顔の見えるお付き合いがあるから。 紹介してくれるのも、買ったあとの とお茶を一杯ごちそうになり、まち さまとは古くからの顔なじみ。行く おうと考えたからです。「金物屋の奥 これからは家族や友人のためにふる たばかり。料亭じこみの料理の腕を、 店で買い物をするのがお好きで先日 屋、包丁は刃物屋と、なじみの専門 うスタイルでした。調理道具は金物 かり長いお付き合い。ふとんがつな お買い物からずっと渡辺さんのお宅 面倒をみてくれるのも、信用という の話をちょっとしたり」良いものを も金物屋で大きな卵焼きなべを買っ んだのは、丸八真綿の訪問販売とい もうひとつ、渡辺さんの心をつか



眠りから生まれてくるんですもの」 なからだとこころは、やっぱりいい はいいおふとんを選びました。元気 車にお金をかけるのもいいけど、私 らぎの時間でもあるの。豪邸や自動 たり本を読んだり。眠るのはもちろ にはおふとんに入って、テレビを観 き眠りに対する想いをつづったもの 「たかが枕 されど枕 快眠」というよ になりました。また、書のなかには さんの想いは「手元 足元」という書 足もとから一歩ずつ」と答えた渡辺 と聞かれ「決して欲ばらず、まずは を動かし続けるひととき。たとえ 先生の指導のもと、自分らしい文字 じ方が違う。それがおもしろいの」。 あとからじっくり眺めてみると感 えていることでも、筆で書き出して、 夢中です。「ふだんあたりまえに考 がとれるように。いまは趣味の書に んですが、ふとんのなかは大切な安 も。「最近は主人も私も、夜9時すぎ と言葉の在りかたを探して黙々と手 人生で大切にしていることは?

退職後、ようやく自分だけの時間









出蔵家の愛猫カノンちゃんは、陽光降り注ぐ窓辺でぐっすり。手縫いのお人形は、造り酒屋を営むで実家にも飾られているそう。生き生きとした印象の出蔵さんは、かつて病弱だったと思えないほど。良い睡眠と体操で身体を鍛えたことがその理由。「寒がりな私にとって、よく眠れる温かなふとんは本当にありがたかったの。普段あまり物を褒めない主人も『ずっと使って良かったよね?』と聞いたら『ウン』ですって。」

が届いたんです。開けてみると真

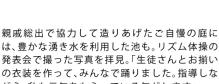
日本百名山のひとつとして名高い、白山のふもとにある石川県白い、白山のふもとにある石川県白いた山並みがよく見えます。

と、悩んで(笑)。同時に、こんな高 う? 新しいのはどこにしまおう? お部屋。狭いから物を増やさず慎ま のこそ、丸八真綿のふとんでした。 日の想い出を懐かしそうに振り返 届いた大きなふとんを、最初は素 ります。その義父母からの贈りも 前になるかしら」出蔵さんは若き すぐのことだから、もう20年以上 結婚が決まり、 「今使っているふとんはどうしよ 直に喜ぶことができませんでした。 新しい寝具がふた揃えも。夫との いふたりが身の丈で借りた小さな しく暮らそうと話していた矢先に しかしながら、当時の住まいは若 一緒に住み始めて



恐縮する気持ちが先に立ちましたね」級なものを頂いて申し訳ない……と

From Smile to Smile









部屋のあちこちに飾られた花が あでやか。「人がたくさん来てく れる家なので、いつもお花は絶 やさないようにしています。」

「毎日ぐっすり眠れたから しい日々も乗り越えられた」

初めて、なんて優しく粋な計らいな まっ白な新しいふとんで眠ってみて ディングドレスが届いたような神聖 に受け止めることができたんです」 な気持ちになったんです。その夜、 すべて美しい純白。なんだかウエ とんを広げてみたそのとき、出蔵さ もどもデザイナーとして共働きを続 んは不思議な気持ちに包まれます。 んだろう、と義父母の気持ちを素直 「枕カバーも掛けふとんもシーツも、 子どもを授かったあとも、夫婦と 戸惑いを覚えながらも新しいふ

うち、 感謝しています」 かりません。あらためて義父母に れだけ疲れを癒やしてくれたかわ で毎日ぐっすり眠れたことが、ど 乗り切ってこられたのも、おふと ないくらい。そんな忙しい毎日を という感じで青春の記憶はあまり 「仕事も子育ても一生懸命こなす て、丸八真綿のふとんを贈りました。 けてきた出蔵さん。結婚してから改 んのおかげ。軽くて温かい寝心地 義父母にお礼の気持ちを込め 気づけば40代半ばだった、

ほほ笑む出蔵さん。夫婦仲むつまじ す。「娘の肌が弱かったので、食べ物 住まいは庭池に豊かな湧き水を活か ちもすっかり大きくなった現在、お かけ。無口だけど優しい人なの」と、 から改善しようとはじめたのがきっ で合鴨農法の無農薬米を育てていま 校で講師をしながら、目の前の水田 ました。ご主人はデザインの専門学 て造りあげた趣あふれる家に変わり く、充実した毎日を楽しんでいます。 長男は23歳、長女は20歳と子どもた 家族・親戚みんなで力を合わせ 内装は壁紙に和紙をあしらうな

は私が支えていますからね」 康になれるんですよ。一生若々し 身体を動かすと、楽しみながら健 師としても活躍中。「曲に合わせて 教鞭をとりながらリズム体操の講 眠のバランスが大事。家族の健康 くいるためには、食事・運動・睡

使っていただくようになりました。 ご家族全員で丸八真綿のふとんを 衣食住に心配りするなか、 いまは

> ちのメーカーならではですよね」 ご提案いただいて驚きました。そう 『綿をお好みの量に増やせます』と 使っていたんですよ。営業さんから 婚当時の想い出のふとんも、何度も 補修や貼り替えまでしてくれる。新 「クリーニングはもちろん、破れの いうきめ細かい対応は、工場をお持 つい先日まで

くい。丸八さんは古い物を回収して まっているものだから意外に捨てに それにふとんって人生の想い出が詰 きなカバーをかければいいですしね。 は好みがあるけれど、ふとんなら好 役立つ一番の贈りもの。食器や家具 たと思うんです。よい眠りは生活に おふとんの価値を知らないままだっ 「義父母が贈ってくれなければよい がいい。そう出蔵さんは話します。 なる人に、そしていつか嫁いでゆ りました。将来息子のお嫁さんに くれるから、そこも好きなのよ(笑)」 日々を想い描きはじめるようにな 少しずつ、子どもたちが巣立つ 贈るならやっぱりふとん

From Smile to Smile





長年勤めた会社を退職し、一昨年から自宅で健康食品の販売業をスタート。新たな一歩を踏み出した海野さん。「仕事をしていると、思うようにふとんを干せない日もあります。 丸八さんのふとんは寝心地がいいだけじゃなく、お手入れが簡単だから助かりました。いつでもふわふわだから、押し入れにしまうのが大変なんて贅沢な悩みよね」とにっこり。





さんがお家にいらっしゃって」 ていたの。そうしたら偶然、 そう、あれに寝てみたいわ』と思っ あったでしょう? そこで毛皮の敷 士の高見山関が出ているCMが そんな海野さんと丸八真綿との出会 通じてできる仕事をしよう、と健 活に一昨年区切りをつけ、一生を 海野京子さんは、二人の子どもを育 した緑豊かな住宅街にお住まいの 県横浜市。中心部から少し足を延ば きふとんを観て『なんて気持ちよさ 「もう20年以上前になるかしら。力 康食品の販売業を始められました。 てながら続けた3数年の会社員生 いは、娘さんが生まれてすぐの頃。 歴史と文化が溢れる港町、神奈川 営業

に変わったのが嬉しかったですね」 使ってみると、その心地よさに大満 使ってみると、その心地よさに大満 をしたのだそう。「会社勤めをして にない眠りの時間が、至福の時 長くはない眠りの時間が、至福の時

大きな買い物を決断するのに、





海野さんの元気の秘訣は「運動・食事・睡 眠のバランス」とのこと。学生時代からずっ とテニスを続けているほか「身体は食べ物 で作られるから」と食育指導士の資格も取 得。未来を担う子どもたちに、食事の大切さ を伝えていくのも、これから取り組む目標 のひとつなのだそう。





けていただけるよう努力し続けます。

なお付き合いをこれからもずっと続

りを預かるおふとんを通して、

丸八真綿もまた、ご家族の大切な眠

してお任せしていますよ」



「お客様を思う気持ちが分かるから 安心してお任せできます」

ボチャを食べましょう、ゆず湯に入 さんのふとんと分かる」ほど気に りましょう』とお知らせし、 す。たとえば冬至の日に『今日はカ る定期メールを作ることにしたんで て寄付をする活動をしていました。 会社員になってからも同僚に声かけ 慰問を行ったり、養護施設に物資を のいいきっかけになるのよね(笑)」 のふとんに一緒に入るのが仲直り くらい温かいの。ケンカしても、こ かけて三人並ぶと暖房がいらない 代わりに寛ぐのが定番の風景です。 族全員が丸八真綿の愛用者。リビン 入っていただいた結果、今ではご家 でしょう。それで季節の行事を伝え 届けたりした高校時代に端を発し、 が信条。ボランティアで介護施設の 「お父さんと息子、ふとんをひざに グでは薄手の羽毛ふとんをこたつ ⁻普通にお願いしても集まりづらい し、古切手やテレホンカードを集め 朗らかな笑顔が印象的な海野さん 人との触れあいを大切にするの

> んでおくのは無駄じゃないと思う」 護する人、される人の気持ちを学 社会になりますから、前もって介 恥ずかしいのよ。これから高齢化 た上からなんですけど、それでも ました。もちろんジーパンを穿い 習では、実際にオムツ交換を体験し 介護の勉強会にも出席。「介護の練 をサポートするセミナーや高齢者

「目をつむっていても、感触で丸八

てみせてくれました。テニスもまた、 になるの」と軽やかにラケットを振っ 趣味のテニスも続けているほど行動 教える ″食育』 にも力を注ぎたい」 は子どもたちに食べものの大切さを う定年はないから、これからの人生 したい。会社を辞めたのもそんな思 ば、なにか社会に貢献できることが 力は抜群。「汗を流すとストレス解消 いがあったからだといいます。「も 社会の一員として生きていくなら 忙しい合間を縫って、週に一度は

居間では、ホットカーペットの 上に薄手の羽毛ふとんを広げて こたつ代わりに。「夫と息子、三人 並んでテレビを観る特等席です」

ことは続く性格、と海野さん。何十 年も丸八真綿のふとんを使っている 高校時代から続けています。好きな のも「やっぱり好きだから」とあり がたいひと言をいただきました。

さんは、あれもこれもと勧めること をきちんとしない方といい関係を築 さんは「ダメ」と思ったらキッパリ で把握してくださっているので安心 とんの適正なクリーニングの時期ま を提案してくれる。以前購入したふ なく、ちゃんと我が家に合ったもの 「お客様の気持ちを思って接する難 断る意志の強さも持っています。 応も品質のひとつ。そう考える海野 くのは難しいもの。丸八のスタッフ くら良い物を持ってきてもフォロー の良し悪しだけでなくスタッフの対 しさはよく分かります。 自らも接客に携わる者として、 しかし、 い

週末を利用して、目が不自由な方

ていただけるようになったの」 古切手などの寄付を募ってます、と 一筆。こうすると、自然に持ってき

22

23